

脳神経外科

中島 伸

脳神経外科では主に脳・脊髄腫瘍、脳血管障害、小児脳神経外科、頭部外傷などを扱い、年間手術件数は2007年が366件、2008年が411件、2009年が359件、そして昨年が392件です。

脳腫瘍については、3次元画像とニューロナビゲーターを駆使した手術に加え、必要に応じて化学療法、放射線療法、免疫療法、Xナイフ、血管内治療を併用します。また不幸にして末期状態になったとしても、個々の患者様の状態に応じて、私どものできる手段を尽くすことを心がけています。

脳血管障害に対しては、脳卒中内科と協力して24時間体制で対応しております。脳卒中の患者様に対しては、必要に応じて、開頭手術、血管内治療、超急性期血栓溶解療法などの治療手段を選択し、発症からできるだけ早期にリハビリテーションを開始するとともに、地域連携パスを利用して後方病院でのスムーズな治療の継続を図っています。

一方、当院には日本でも数少ない小児脳神経外科医がいることも特徴で、水頭症や二分脊椎など先天性疾患の新生児に対する緊急手術も数多く行っています。特に二分脊椎に対しては、手術後や成人期になってもトータルケアができるように神経因性膀胱の専門医、褥瘡専門看護師、外来看護師との協力で二分脊椎外来（完全予約制）を行っています。

頭部外傷については救急医と連携しており、脳神経外科医単独では対応困難な多発外傷に対しても積極的に受け入れています。個々の外傷患者様の背景や病態は様々ですが、それぞれに最善と考えられる治療方針をとっています。

研修医、レジデント教育に力を入れているのも当科の特徴です。毎週の症例検討会のほかに救急医との合同症例検討会、リハビリテーションカンファレンス、抄読会などを行っています。特に手術症例検討会においては、レジデントがその週に行った手術のビデオを提示し、手術戦略や個々の手技の妥当性などを議論する場としています。普段、何気なく行っているセッティングや手術操作に関しても、言語化を試みることによって、その意味が明確になり、また知識や考え方を皆が共有できるというメリットがあります。また顕微鏡手術は手術室の外で行う練習が大切なので、医局で実体顕微鏡を購入し、シリコンモデルや鶏肉を用いた卓上での組織剥離・血管吻合の練習を奨励しています。

学会発表についても活発に行っており、順次、論文化して国内外の医学雑誌に発表しています。

脳神経外科では、患者様には「この病院に来て良かった」と言ってもらい、紹介元の先生には「この病院に紹介して良かった」と思ってもらい、そして職員自身も「この病院で働いて良かった」と感じてもらえるよう、これからも全力を尽くしたいと考えています。(紹介文本文 1118字)

【2010年度研究発表業績】

A-0

Yamane J, Nakamura M, Iwanami A, Sakaguchi M, Katoh H, Yamada M, Momoshima S, Miyao S, Ishii K, Tamaoki N, Nomura T, Okano HJ, Kanemura Y, Toyama Y, Okano H. Transplantation of Galectin-1-Expressing Human Neural Stem Cells Into the Injured Spinal Cord of Adult Common Marmosets. J Neurosci Res 2010; 88(7):1394-1405 (2010年5月)

Kanemura Y. Development of cell-processing systems for human stem cells (neural stem cells, mesenchymal stem cells, and iPS cells) for regenerative medicine. Keio J Med 2010; 59(2):35-45 (2010年6月)

Sakai Y, Yoshida S, Yoshiura Y, Mori R, Tamura T, Yahiro K, Mori H, Kanemura Y, Yamasaki M, Nakazawa K. Effect of microwell chip structure on cell microsphere production of various animal cells. J Biosci Bioeng 2010; 110(2):223-229 (2010年8月)

Itoh K, Yaoi T, Yoshifuji K, Pooh R, Yamasaki M, Fushiki S. Semilobar holoprosencephaly with a unique traversed sylvian sulcus. Neuropathol Appl Neurobiol 2011;1365-2990 (2011年1月)

Ishihara M, Yamanaka K, Nakajima S, Yamasaki M: Intracranial hemorrhage after intra-arterial administration of fasudil for treatment of cerebral vasospasm following subarachnoid hemorrhage: a serious adverse event. Neuroradiology, published online: 24 March 2011 (2011年3月)

Yamanaka K, Ishihara M, Nakajima S, Yamasaki M, Yoshimine T. Coil embolization of a traumatic intracranial aneurysm of the distal part of the azygos anterior cerebral: Report of a case followed up for 4 years. Neurol Med Chir(Tokyo): in press

Yamanaka K, Ishihara M, Nakajima S, Yamasaki M, Yoshimine T. Brain abscess following intra-arterial thrombolytic treatment for acute brain ischemia: A case report. Joranal of Clinical Neuroscience :in press

Bamba Y, Nonaka M, Nakajima S, Yamasaki M. Three dimensional-reconstructed CT-MR fusion image-based preoperative planning for surgical procedures for spinal lipoma or tethered spinal cord after myelomeningocele (MMC) repair. Neurol Med Chir(Tokyo) 2011;51(5) in press

A-1

山崎麻美: 胎児診断された水頭症の治療方針は? 「EBM 脳神経外科疾患の治療」 2011-2012 宮本 享、新井 一、鈴木倫保、渋谷壮一郎、中瀬裕之、338-343、中外医学社、東京、2010年10月30日

山崎麻美: 「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂2版」 山崎麻美編集代表、金芳堂、京都、2010年11月1日

山崎麻美: ガイドラインが目指すもの「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂2版」山崎麻美編集代表、1-5、金芳堂、京都、2010年11月1日

山崎麻美: 水頭症とは「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂2版」山崎麻美編集代表、13-21、金芳堂、京都、2010年11月1日

山崎麻美：先天異常の中での胎児期水頭症の占める位置「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、22--24、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：脳室拡大を主な所見とする水頭症「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、95-103、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：全前脳胞症「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、128-135、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：二分頭蓋「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、136-141、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

近藤厚生、山崎麻美：葉酸について「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、203-210、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：患者団体「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、224-225、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：二次病院リスト「胎児期水頭症 診断と治療ガイドライン改訂 2 版」山崎麻美編集代表、226-237、金芳堂、京都、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：水頭症「リハビリテーションポケットマニュアル」診断と治療社、東京 印刷中

A-2

山崎麻美、壛中正博：脳室腹腔シャント（V-P シャント術）「脳神経外科臨床マニュアルⅡ 改訂第 4 版」 端 和夫、680-692、シュプリンガー・ジャパン、東京、2010 年 7 月 17 日

壛中正博、山崎麻美：テント上腫瘍-胚細胞腫-「NS NOW 小児脳神経外科手術-安全な手術のコツを伝授-」新井 一、11：142-151、メジカルビュー社、東京、2010 年 8 月 20 日

中島 伸、池田正行、大西弘高、加藤一朗、金井伸行、久保光司、香村安健、佐藤 健一、焦 昇、杉原 桂、高橋優二、土肥直樹、林 啓一、前野哲博、松木孝和、水島孝明、三原 弘、村上 純、矢野敬文：「症候診断トレーニング DS」症候診断トレーニング DS 制作委員会 監修・編著、メディカ出版、吹田、2010 年 12 月

A-3

渡辺悠里子、松本久宣、神谷まひる、松原尚子、伊東裕子、西村史朋、宮崎有美子、佐々木浩呂江、八木治彦、山田成利、岡垣篤彦、細木拓野、伴千秋：リンパ節転移の術前診断における PET-CT の有用性「産婦人科の進歩」62：P.273-276、2010 年 4 月

馬場庸平、埜中正博、永野大輔、尾崎友彦、押田奈都、角野喜則、山際啓典、金村米博、山中一功、森内秀祐、中島 伸、山崎麻美：レジデント教育への手術計画ソフトウェア iPlan cranial の活用「脳神経外科速報」脳神経外科編集委員会、 21 (3) : P.310-314、メディカ出版、大阪、 2011 年 3 月

山崎麻美、埜中正博、馬場庸平、寺元千佳、伴 千秋、夫 律子：胎児期水頭症の診断と治療および長期予後「脳神経外科ジャーナル」 印刷中

A-4

山崎麻美：出会いがくれた飛躍「小児科診療」 73 (8) : P.1426-1427、2010 年 8 月 1 日

山崎麻美：先天性水頭症の長期予後「周産期医学」40 (8) : P.1197-1201、 2010 年 8 月 10 日

山崎麻美、埜中正博：頭部外傷—事故か？虐待か？「小児内科」42 (11) : P.1786-1791、2010 年 11 月 1 日

山崎麻美：小児脳神経外科領域における遺伝子診断「NEUROLOGICAL SURGERY 脳神経外科」 39 (1) : P.65-77、2011 年 1 月 10 日

山崎麻美：Book Review どう診る？どう対応する？乳幼児の頭部外傷と虐待 救急医療チームがおさえておきたい診断・治療・予防のポイント「脳神経外科速報」 21 (2) : P.218、2011 年 2 月 10 日

山崎麻美：先天性水頭症と二分脊椎 「小児神経学の進歩」 印刷中

金村米博、森 英樹、八尋寛司、中澤浩二：細胞凝集塊形成プロセス制御による幹細胞の培養・分化制御「再生医療」9(3):P.47-52、2010 年 8 月

金村米博：中枢神経疾患に対する細胞移植療法を用いた再生治療「脳神経外科」39(1) : P.5-23、2011 年 1 月

A-5

金村米博：難治性てんかん患者由来 iPS 細胞を用いた新規創薬基盤の構築。厚生労働科学研究費補助金（創薬基盤推進研究事業）「難治性てんかん患者由来 iPS 細胞を用いた新規創薬基盤の構築」平成 21 年度総括・分担研究報告書、P.1-3、2010 年 4 月

金村米博：てんかん患者由来 iPS 細胞および神経幹細胞の樹立。厚生労働科学研究費補助金（創薬基盤推進研究事業）「難治性てんかん患者由来 iPS 細胞を用いた新規創薬基盤の構築」平成 21 年度総括・分担研究報告書、P.15-20、2010 年 4 月

山崎麻美：胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成。厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成」平成22年度総括・分担研究報告書、印刷中、2011年3月

金村米博：難治性脳形成障害症患者由来生体試料の収集とそのバンク化に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成」平成22年度総括・分担研究報告書、印刷中、2011年3月

A-6

山崎麻美：小児脳神経外科医から小児科医へのメッセージ「大阪小児科医会会報」11-17、2010年4月

中島 伸：脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室（第2回）「脳神経外科速報」20(4):490、2010年4月

中島 伸：脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室（第3回）「脳神経外科速報」20(5):592、2010年5月

中島 伸：脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室（第8回）「脳神経外科速報」20(9):1205、2010年10月

中島 伸：脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室（第9回）「脳神経外科速報」20(10):1321、2010年10月

中島 伸：脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室（第10回）「脳神経外科速報」20(12):1441、2010年12月

中島 伸：脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室（第12回）「脳神経外科速報」21(2):219、2011年2月

中島 伸：Book Review “症候診断トレーニング DS できる！ プライマリ・ケア やれる！ アセスメント”「脳神経外科速報」21(3):337、2011年3月

中島 伸：中心性脊髄損傷について「レジデントノート」12(1):150-152、2010年4月

中島 伸：CICVについて「レジデントノート」12(3):556-558、2010年5月

中島 伸：研修医のための頭部外傷初期診療概念図「レジデントノート」12(4):720-722、2010年6月

中島 伸：あと1歩の踏み込み「レジデントノート」12(5):870-872、2010年7月

中島 伸 : 低ナトリウム血症の補正「レジデントノート」12(7):1287-1289、2010年8月

中島 伸 : ”モンスター患者”対策「レジデントノート」12(8):1448-1450、2010年9月

中島 伸 : 余命1ヵ月の花嫁「レジデントノート」12(9):1608-1610、2010年10月

中島 伸 : 教育を楽しむ「レジデントノート」12(11):2015-2017、2010年11月

中島 伸 : 頭痛診断にCT/MRIは必要か? 「レジデントノート」12(12):2154-2156、2010年12月

中島 伸: 手術室で「あってはならない」3つの出来事(その1)「レジデントノート」12(13):2310-2312、2011年1月

中島 伸: 手術室で「あってはならない」3つの出来事(その2)「レジデントノート」12(15):2717-2719、2011年2月

中島 伸 : スライド発表におけるイラスト作成法「レジデントノート」12(16):2886-2887、2011年3月

B-1

Yamasaki M. The research into molecular biology and stem cell research in hydrocephalus. The Korean society for pediatric neurosurgery 2010, Seoul, Korea, 2010年5月

Yamasaki M. Head trauma due to child abuse in Japan. The Korean society for pediatric neurosurgery 2010, Seoul, Korea, 2010年5月

Kanemura Y. Stem cell research of congenital central nervous system malformations in pediatric neurosurgery. International Symposium on Fetal Neurology, Osaka, Japan, 2010年10月

Yamasaki M. For the establishing of criteria in prenatal diagnosis of intractable fetal brain malformation. 6th International Academy of Perinatal medicine, Scientific Program International Symposium on Fetal Neurology, Osaka, Japan, 2010年10月

金村米博. 神経幹細胞とiPS細胞の基礎. International Symposium on Fetal Neurology, Osaka, Japan, 2010年10月

B-2

Takahara M, Tomiyama M, Nieda M, Goto S, Peshwa MV, Kanemura Y., Maekawa R, Moriuchi S. Dendritic cells loaded with autologous tumor lysate by electroporation effectively induce lysate specific IFN- γ

producing T cells in glioblastoma patients. AACR 101st Annual Meeting 2010, Washington, DC, USA, 2010年4月

Yamasaki M, Nonaka M, Shofuda T, Kanemura Y. Prenatal molecular diagnosis and stem cell research in severe type of L1CAM syndrome(X-linked hydrocephalus). 5th International Hydrocephalus Workshop, Crete, Greece, 2010年5月

Shofuda T, Kanematsu D, Yamamoto A, Fukusumi H, Suemizu H, Nakamura M, Sugimoto Y, Furue-K M, Kohara A, Okano H, Yamasaki M, Kanemura Y. Generation of human induced pluripotent stem cells from decidua-derived mesenchymal cells. ISSCR 8th Annual Meeting, San Francisco, CA, USA, 2010年6月

Yamasaki M, Nonaka M, Shofuda T, Kanemura Y. Prenatal molecular diagnosis and stem cell research in severe type of L1CAM syndrome(X-linked hydrocephalus). 15th International conference on prenatal diagnosis and therapy. Amsterdam, Netherlands, 2010年7月

Yamasaki M, Nonaka M, Bamba Y, Teramoto C, Pooh R. Evaluation of prenatal diagnosis of isolated ventriculomegaly. Society for research into hydrocephalus and spina bifida 54th Annual scientific meeting. Vancouver bc, Canada, 2010年7月

Shofuda T, Kanematsu D, Yamamoto A, Fukusumi H, Suemizu H, Nakamura M, Okano H, Yamasaki M, Kanemura Y. Generation of human induced pluripotent stem cells from amnion-derived mesenchymal cells. 6th International Academy of Perinatal medicine, Scientific Program International Symposium on Fetal Neurology, Osaka, Japan, 2010年10月

Yamasaki M. Malformation of brain and Hydrocephalus. 6th International Academy of Perinatal medicine, Scientific Program International Symposium on Fetal Neurology. Osaka, Japan, 2010年10月

Teramoto C, Nonaka M, Bamba Y, Eino D, Yamasaki M. Prenatal and postnatal family support for congenital hydrocephalus. 6th International Academy of Perinatal medicine, Scientific Program International Symposium on Fetal Neurology. Osaka, Japan, 2010年10月

Bamba Y, Nonaka M, Kodama Y, Ueno K, Tawa A, Sheyne M, Nakajima S, Pooh R, Yamasaki M. Prenatal diagnosis of a fetal intracranial infantile fibrosarcoma. 6th International Academy of Perinatal medicine, Scientific Program International Symposium on Fetal Neurology, Osaka, Japan 2010年10月

Oshida N, Nonaka M, Bamba Y, Nakajima S, Yamasaki M, Pooh R. Semilobar holoprosencephaly due to mutation in ZIC2 gene. 6th International Academy of Perinatal medicine, Scientific Program International Symposium on Fetal Neurology, Osaka, Japan, 2010年10月

Nonaka M, Bamba Y, Oshida N, Eino D, Nakajima S, Yamasaki M. Effect of untethering surgery for lower

back pain and limbic pain due to tethered cord. 38th Annual meeting of the international society for pediatric neurosurgery ISPN2010, Jeju, Korea, 2010 年 11 月

Bamba Y, Nonaka M, Oshida N, Nakajima S, Yamasaki M. Usefulness of preoperative planning with multimodal fusion three-dimensional reconstructed image for pediatric neurosurgery .38th Annual meeting of the international society for pediatric neurosurgery ISPN2010, Jeju, Korea, 2010 年 11 月

Oshida N, Nonaka M, Banba Y, Nakajima S, Yamasaki M. Spontaneous regression and progression of intracranial cyst: report of 7 cases. 38th Annual meeting of the international society for pediatric neurosurgery ISPN2010, Jeju, Korea, 2010 年 11 月

Yamasaki M. Medical problems in adulthood spina bifida patients. 38th Annual meeting of the international society for pediatric neurosurgery ISPN2010, Jeju, Korea, 2010 年 11 月

B-3

山崎麻美、埜中正博、金村米博、夫 律子：胎児期水頭症の診断と治療および長期予後。
第 30 回日本脳神経外科コンgres総会、横浜、2010 年 5 月

埜中正博、永野大輔、馬場庸平、尾崎友彦、中島 伸、山崎麻美：乳児硬膜下血腫の受傷機転の推測についての検討-事故か、それとも虐待か?-。第 38 回日本小児神経外科学会、富山、2010 年 6 月

埜中正博、寺元千佳、永野大輔、馬場庸平、尾崎友彦、中島 伸、山崎麻美：脊髄髄膜瘤における出生前診断と分娩形態についての検討。第 38 回日本小児神経外科学会、富山、2010 年 6 月

埜中正博、馬場庸平、尾崎友彦、永野大輔、山際啓典、中島 伸、山崎麻美：脊髄脂肪腫手術における周術期合併症と術後係留による症状出現の検討。第 38 回日本小児神経外科学会、富山、2010 年 6 月

山崎麻美：成人期二分脊椎症患者の抱える医学的問題。第 27 回日本二分脊椎研究会、大阪、2010 年 7 月

山崎麻美：虐待による乳幼児頭部外傷～臨床医学と法医学および児童相談所や警察検察との連携～。
第 2 回日本子ども虐待医学研究会、小倉（北九州）、2010 年 7 月

金村米博、正札智子、岡田洋平、岡野栄之、山崎麻美：ヒト神経幹細胞の細胞特性解析とその品質管理指標。社団法人日本脳神経外科学会第 69 回学術集会、福岡、2010 年 10 月

馬場庸平、埜中正博、永野大輔、角野喜則、山際啓典、押田奈都、山中一功、中島 伸、山崎麻美：手術計画ソフトウェア“iPlan”による三次元手術計画の有用性と応用。社団法人 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会、福岡、2010 年 10 月

埜中正博、馬場庸平、永野大輔、押田奈都、中島 伸、山崎麻美：係留脊髄に対する外科的治療の役割と周術期合併症についての検討。社団法人 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会、福岡、2010 年 10 月

中島 伸：いわゆるモンスター患者への対処。日本臨床麻酔科学会、徳島、2010 年 11 月

埜中正博、馬場庸平、寺元千佳、押田奈都、永野大輔、角野喜則、中島 伸、山崎麻美：小児水頭症に対する内視鏡治療の選択。第 17 回日本神経内視鏡学会、千葉、2010 年 12 月

B-4

埜中正博、馬場庸平、永野大輔、尾崎友彦、中島 伸、山崎麻美：乳児期の悪性脳腫瘍に対する集学的治療。第 38 回日本小児神経外科学会、富山、2010 年 6 月

寺元千佳、埜中正博、尾崎友彦、馬場庸平、永野大輔、山崎麻美：水頭症の子どもたちの就園・就学に関する調査。第 38 回日本小児神経外科学会、富山、2010 年 6 月

馬場庸平、埜中正博、中島 伸、山崎麻美：CT-MR fusion 3D 画像を使用した小児脳神経外科手術計画の有用性。第 38 回日本小児神経外科学会、富山、2010 年 6 月

馬場庸平、埜中正博、中島 伸、山崎麻美：CT-MR fusion 3D 画像を使用した脊髄係留解除術の術前計画の有用性。第 38 回日本小児神経外科学会、富山、2010 年 6 月

堀部邦男、金村米博：特発性正常水頭症における拡散 MRI(ADC value)を用いた tap test の評価。第 69 回大阪大学脳神経外科関連施設臨床懇話会、千里 (大阪)、2010 年 7 月

埜中正博、馬場庸平、永野大輔、山際啓典、山崎麻美、中島 伸：上錘体静脈洞を切断しない partial presigmoid approach Partial presigmoid approach presigmoid approach preserving the superior petrosal sinus。第 22 回日本頭蓋底外科学会、久留米 (福岡)、2010 年 7 月

馬場庸平、埜中正博、中島 伸、山崎麻美：大後頭孔・頭蓋頸椎移行部の外科手術における三次元再構成 CT-MR 融合画像を使用した手術計画の有用性。第 22 回日本頭蓋底外科学会、久留米(福岡)、2010 年 7 月

埜中正博、馬場庸平、押田奈都、永野大輔、角野喜則、中島 伸、山崎麻美：思春期・青年期における脊髄係留症例の下肢痛、腰痛に対する係留解除術の有用性。第 27 回日本二分脊椎研究会、大阪、2010 年 7 月

寺元千佳、埜中正博、馬場庸平、永野大輔、山崎麻美：二分脊椎の子どもたちの就園・就学に関する調査を実施して。第 27 回日本二分脊椎研究会、大阪、2010 年 7 月

馬場庸平、埜中正博、押田奈都、中島 伸、山崎麻美：CT-MRI 融合三次元再構成画像を使用した二分脊椎症手術の手術計画の有用性。第 27 回日本二分脊椎研究会、大阪、2010 年 7 月

埜中正博：ずれにくいマーカーを使用したニューロナビゲーター支援脳腫瘍摘出術。第 15 回日本脳腫瘍の外科学会、大阪、2010 年 10 月

山崎麻美：先天性水頭症。社団法人 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会、福岡、2010 年 10 月

永野大輔、埜中正博、馬場庸平、角野喜則、押田奈都、山際啓典、山崎麻美、中島 伸：ニューロナビゲーター支援手術に用いるためのずれにくいマーカーの開発と臨床応用。社団法人日本脳神経外科学会第 69 回学術総会、福岡、2010 年 10 月

山中一功、山際啓典、押田奈都、馬場庸平、永野大輔、角野喜則、中島 伸：頸動脈ステント留置術（CAS）承認後の protection device の違いによる中長期成績。社団法人 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会、福岡、2010 年 10 月

埜中正博、馬場庸平、押田奈都、中島 伸、山崎麻美：内視鏡による治療を実施した頭蓋内嚢胞に伴う乳児水頭症の 3 例。第 28 回日本こども病院神経外科医会、千葉、2010 年 11 月

馬場庸平、押田奈都、埜中正博、中島 伸、山崎麻美：2 歳時にシャント抜去に至った脊髄髄膜瘤随伴水頭症の 1 例。第 28 回日本こども病院神経外科医会、千葉、2010 年 11 月

押田奈都、寺元千佳、埜中正博、馬場庸平、中島 伸、山崎麻美：胎児診断された重度心奇形を合併する全前脳胞症の 1 例。第 28 回日本こども病院神経外科医会、千葉、2010 年 11 月

山中一功、山際啓典、角野喜則、永野大輔、馬場庸平、押田奈都、中島 伸：Neuronavigation software“iPlan”による無造影頸動脈 STENT 留置術（CAS）。第 26 回日本脳神経血管内治療学会、小倉（北九州）、2010 年 11 月

山際啓典、山中一功、角野喜則、永野大輔、馬場庸平、押田奈都、金村米博、埜中正博、中島 伸、山崎麻美：True P-com.AN.に対してコイル塞栓術を行った 5 例。第 26 回日本脳神経血管内治療学会、小倉（北九州）、2010 年 11 月

埜中正博：ずれにくいマーカーを使用してニューロナビゲーター支援下神経膠腫摘出術。第 28 回日本脳腫瘍学会学術集会、軽井沢、2010 年 11 月

金村米博：ヒトグリオーマ幹細胞の細胞特性解析と薬剤感受性評価。第 28 回日本脳腫瘍学会学術集会、軽井沢、2010 年 11 月

馬場庸平、埜中正博、押田奈都、中島 伸、山崎麻美：神経内視鏡支援下脊髄係留解除手術の有用性とその工夫。第 17 回日本神経内視鏡学会、千葉、2010 年 12 月

兼松大介、正札智子、山本篤世、伴 千秋、上田孝文、山崎麻美、金村米博：ヒト脱落膜組織からの間葉系細胞の分離とその特性解析。第 10 回日本再生医療学会総会、東京、2011 年 3 月

福角勇人、正札智子、兼松大介、山本篤世、水谷美香、末水洋志、中村雅登、山崎麻美、笹井芳樹、金村米博：ヒト iPS 細胞樹立におけるヒト型細胞外マトリクスの有用性。第 10 回日本再生医療学会総会、東京、2011 年 3 月

B-5

山崎麻美：小児救急医療における虐待による頭部外傷とその対応。第 9 回大阪小児救急医療フォーラム、大阪、2010 年 5 月

山崎麻美：虐待による小児頭部外傷の診断と治療。第 40 回新潟小児神経学研究会、新潟、2011 年 2 月

B-6

永野大輔、埜中正博、坂東裕基、上平朝子、白阪琢磨、山崎麻美、中島 伸：生検によって診断確定に至った進行性多巣性白質脳症の一例。第 71 回近畿脳腫瘍研究会、大阪、2010 年 4 月

永野大輔、埜中正博、坂東裕基、上平朝子、白阪琢磨、山崎麻美、中島 伸：生検によって診断確定に至った進行性多巣性白質脳症の一例。第 59 回日本脳神経外科学会 近畿支部学術集会、大阪、2010 年 4 月

押田奈都、埜中正博、角野喜則、永野大輔、馬場庸平、山際啓典、金村米博、山中一功、山崎麻美、中島 伸：板間層から発生した巨大類上皮腫の一例。第 60 回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会、千里（大阪）、2010 年 9 月

角野喜則、埜中正博、永野大輔、馬場庸平、押田奈都、山際啓典、金村米博、山中一功、山崎麻美、中島 伸：覚醒下手術により摘出を行った言語野海綿状血管腫の 2 例。第 60 回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会、千里（大阪）、2010 年 9 月

B-7

山際啓典、埜中正博、角野喜則、永野大輔、馬場庸平、押田奈都、金村米博、山中一功、中島 伸、山崎麻美、櫛原新平、東野正明、林伊吹、川上理郎：頭蓋内に進展した篩骨洞癌に対して trans basal approach および endonasal approach を用いて腫瘍摘出を行った一例。第 69 回大阪大学脳神経外科関連施設臨床懇話会、千里（大阪）、2010 年 7 月

山崎麻美：頭部外傷分析と地域システムの研究。科学技術振興（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）犯罪からの子どもの安全シンポジウム「子どもたちを虐待からまもる」 東京、2010

年 7 月

山崎麻美、埜中正博、馬場庸平、松延 咲、中島 伸：小児虐待による頭部外傷の特徴—事故と虐待の鑑別。科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）犯罪からの子どもの安全シンポジウム「子どもたちを虐待からまもる」、東京、2010 年 12 月

B-8

山中一功：当院における脳卒中搬送患者の現状と頸動脈 STENT 留置術における最近の試み。第 3 回大阪市中央エリア HD 連携の会、大阪、2010 年 4 月

中島 伸：医療安全の基本知識 ～歴史を知る～。国立病院機構近畿ブロック事務所平成 22 年度医療安全管理者養成研修会、大阪、2010 年 5 月

中島 伸：医療における教育手法について 研修医教育のツール～寺子屋～。平成 22 年度国公私立大学附属病院医療安全セミナー、大阪、2010 年 6 月

中島 伸：診療部門の現状。国立病院機構近畿ブロック事務所、平成 22 年度 2 年目事務職研修会、大阪、2010 年 6 月

中島 伸：教育を楽しむ。国立病院機構近畿ブロック事務所、平成 22 年度 3 年目以上看護教員研修会、大阪、2010 年 7 月

山崎麻美：小児の脳をめぐる最近の話題。小児内分泌女性医師の会第 1 回セミナー、東京 2010 年 9 月

山崎麻美：先天性水頭症と二分脊椎。第 40 回小児神経外科学セミナー、神奈川、2010 年 9 月

中島 伸：プライマリケアに生かす神経学的所見のとり方。平成 22 年度日本医師会生涯教育講座病院実習、大阪、2010 年 10 月

山崎麻美：救急医療における小児の虐待対応。淀川キリスト病院ブランウン記念講演会、大阪、2010 年 11 月

中島 伸：適切な診療録記載。国立病院機構福井病院医療安全研修、敦賀、2010 年 11 月

中島 伸：医療安全の歴史。国立病院機構近畿ブロック事務所平成 22 年度医療安全管理者養成研修会、大阪、2010 年 12 月

中島 伸：医療安全の基本知識。国立病院機構近畿ブロック事務所平成 22 年度医療安全管理者養成研修会、大阪、2010 年 12 月

中島 伸：記者会見の準備。国立病院機構近畿ブロック事務所平成 22 年度医療安全管理者養成研修会、大阪、2010 年 12 月

中島 伸：医事紛争防止のための工夫。国立病院機構大阪南医療センターサービス向上研修会、河内長野、2010 年 12 月

金村米博：神経幹細胞樹立に使用可能な細胞ソースと細胞品質管理および創薬研究への応用。第 10 回ヒューマンサイエンス研究資源バンクセミナー「培養細胞を利用した創薬研究ーここまで進んだバリデーションー」、豊中、2011 年 1 月

山崎麻美：女性医師支援策について。平成 22 年度勤務医部会 第 8～11 ブロック合同懇談会、大阪、2011 年 2 月

金村米博：「ヒト多能性幹細胞の臨床応用を可能にする技術開発と課題」培養法、バンク化、細胞純化など。ヒト多能性幹細胞の医療応用と臨床研究指針の改訂ー研究開発と規制のシンクロニーを目指してー（文部科学省「再生医療の実現化プログラム」関連事業・公開ワークショップ）、神戸、2011 年 2 月

金村米博：樹状細胞を用いた悪性グリオーマに対する免疫療法ーエレクトロポレーションを用いた腫瘍抗原導入法の可能性ー。第 10 回日本再生医療学会総会ランチョンセミナー「細胞医療の新たなステージ～Cell Loading System の可能性～」、東京、2011 年 3 月

金村米博：幹細胞はこう増える！～幹細胞を治療につかうためには～。科学の進歩が医療を変える～科学者が語る科学の楽しさ～（関西広域バイオメディカルクラスター成果発表会）、神戸、2011 年 3 月

B-9

山中一功：巨人・木村コーチくも膜下出血で重体。よみうりテレビ「情報ライブ ミヤネ屋」、大阪、2010 年 4 月 5 日

山中一功：脳卒中の恐怖～巨人・木村コーチ「くも膜下出血」死亡～。よみうりテレビ「情報ライブ ミヤネ屋」、大阪、2010 年 4 月 7 日

山中一功：くも膜下出血の症状・治療法など。よみうりテレビ「かんさい情報ネット ten!」、大阪、2010 年 4 月 7 日

山中一功：くも膜下出血。産経新聞、大阪、2010 年 6 月

山中一功：「幼い命を救え」～虐待・医療現場の模索～。ニューステラス関西（NHK 総合）

大阪、2010年6月23

山崎麻美：幼い命を“科学”で救え～虐待を見分ける現場の模索～。おはよう日本（NHK ニュース）、2010年7月15日

山崎麻美：虐待見極めに科学の目。中日新聞、2010年8月5日

山崎麻美：幼い命を救え 科学データで浮かび上がる虐待の証し。関西テレビ、大阪、2010年8月23日